

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年4月8日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年4月8日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【既設多核種除去設備(C)入口流量調整弁の動作不良について】 当直員が既設多核種除去設備(C)の処理運転を行ったところ、免震重要棟集中監視室の監視盤に「入口処理水流量低低」の警報を確認。 監視盤の当該系統モニタを切り替え、機器の状況をモニタで確認した結果、入口流量調整弁の「開」信号なしを確認。当該入口流量調整弁の動作確認を行った結果、弁の開閉動作に緩慢な動きを確認。 原因調査のため、当該弁の駆動用空気供給配管の途中に設けられているロックアップ弁※を点検した結果、内部の固着を確認。 ロックアップ弁内部の手入れを行い、当該入口流量調整弁の正常動作を確認。 当該入口流量調整弁による不具合が確認されたが、他の系統および増設多核種除去設備にて代替え運転が可能であり、系統機能に影響なし。</p> <p>※ ロックアップ弁：空気圧の低下を検知すると、内部のバルブを閉じて調整弁に供給されている空気圧が放出されないように保持することによって、調整弁の開度を直前の開度の値に保持する弁。</p>	GⅢ	4月3日